

モニター様 No. 5

だいぶハマっております！

他のイヤホンを使用している人たちを見る度に「いいから一度このイヤホンで聴いてみなよ！」と言いたくなる程のハマりっぷりです(笑)

モデル 878 を使用しての感想は、何ととっても長時間使用しても耳が凝らない『使い心地』、すぐそこで演奏しているかのような『音の臨場感』、そして外界の音を驚くほど遮って音楽に集中できる『遮音性』の3つに尽きると思います。

使用にあたって一番重要と思われるのは、イヤーチップの選択です。私も最初に前モデルの 868 を使用し始めた時は、「ただのゴムのチップじゃないか」位にしか考えていませんでしたが、どこいこの「ただのゴムチップ」ひとつで、使い心地はもちろん音の聴こえ方も「別のイヤホンじゃないか!？」と思うほど変わってきます。耳に直に触れるのが、この柔らかいゴム製のイヤーチップですから、耳のサイズにあったチップを選択できれば、ほぼストレスフリーの『使い心地』で長時間音楽を楽しむことができます。これから使用される方は、ぜひこのイヤーチップをサイズや音の好みに合わせてじっくり選んでいただきたいと思います。

ちなみに私の今のお気に入り、鏡餅のようにイヤーチップが二重になっているものです。これは格段に重低音の響きが良く、JAZZ曲などでは、ウッドベースの弦の振動や、弾かれた弦がネックにあたって鳴るビリビリといった微かな音まではっきりと聴こえます。決して重低音だけが大きな音で強調される訳ではないのに、鼓膜に伝わる重低音の振動が心地よいです。また、ボーカル曲でも声が良く通り、息遣いまで聴こえる程です。そしてボーカルが真ん中でドラムが右奥、ベースが左奥といった演奏位置まで音から想像することができ、『音の臨場感』が感じられます。868 と比べると、曲によっては、ですが音の広がりにより感じ、演奏会場が一回り大きくなったような印象を受けました。

そして『遮音性』ですが、これがまた素晴らしい。初めてモデル 868 を装着して音楽を聴いた時の感動が忘れられません。まさに「音楽で耳栓をしているよう」な感覚です。モデル 878 もその良さを引き継いでおり、聴いている音楽と自分が見ている景色がマッチすると、自分がその曲のPVに入り込んだような感覚を覚えます。これは遮音性と一音一音のすばらしさが両立した Blue ever blue 社のイヤホンならではの感覚だと思います。

同じ価格帯の商品は、ヘッドホンから Blue tooth 対応イヤホンまで様々試してきましたが、満足度は文句なしの第一位です。音漏れ・遮音性・耳疲れといったストレスを全て解消し、なおかつ抜群の音の良さ。コストパフォーマンスがすごいと思います。

ただひとつ、次回は Blue tooth 対応の商品ぜひ作っていただきたいです!!このクオリティでワイヤーのストレスまで解消されたら・・・またモニター参加させてください(笑)

-- 以上 --

<注意>

本レポートは、シースピリッツ合同会社の Blue Ever Blue Mercury Model 878 モニタープロ

グラムに基づいて選定されたモニターの方が作成したものであり、その著作権はシースピリッツ合同会社に委属し、個人的な閲覧目的のために供するものです。転載等をご希望の際は、シースピリッツ合同会社までご相談下さい（info@hakojiro.com）。